

不動産業業況等調査（2021年7月）^{*1}

● 現在の経営状況^{*2}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	0.0 p	△ 1.9 p ▼
不動産流通業（住宅地）	△ 7.7 p	4.8 p ▲
ビル賃貸業	△ 20.4 p	△ 1.9 p ▼

● 3ヶ月後経営状況見通し^{*3}

		前回からの変化
住宅・宅地分譲業	0.0 p	△ 5.8 p ▼
不動産流通業（住宅地）	△ 19.2 p	△ 0.9 p ▼
ビル賃貸業	△ 31.5 p	△ 5.6 p ▼

住宅・宅地分譲業の経営状況は前回から 1.9p 悪化し 0.0p。2期連続のプラス水準。

不動産流通業は前回から 4.8p 改善し ▲7.7p。9期連続のマイナス水準。

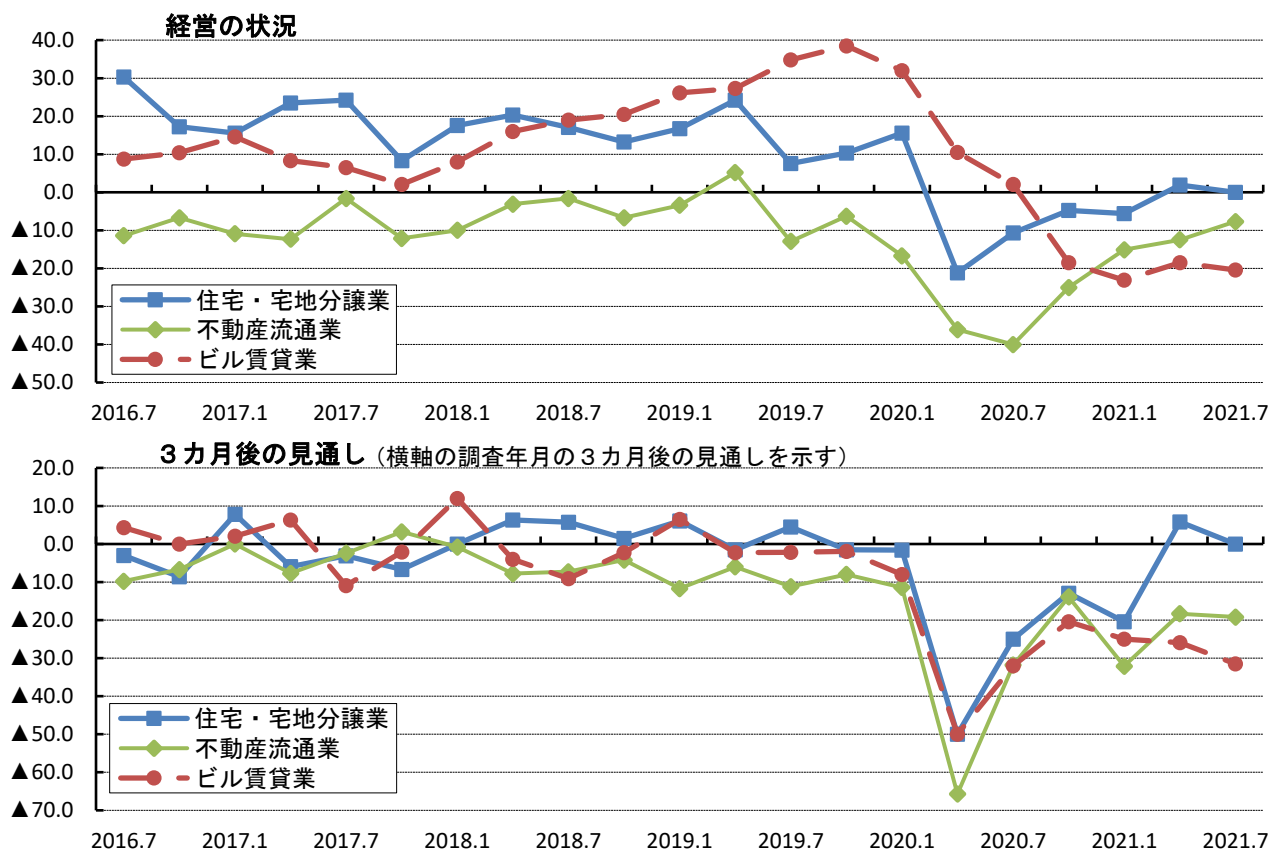
ビル賃貸業は前回から 1.9p 悪化し ▲20.4p。4期連続のマイナス水準。

3ヶ月後の見通しは、住宅・宅地分譲業、不動産流通業、ビル賃貸業の全てで悪化。

^{*1} 不動産業を営む企業を対象としたアンケート調査をもとに、不動産業業況指数を算定（-100～+100、0が判断の分かれ目）。調査時期は毎年1、4、7、10月。

^{*2} 経営の状況＝{（「良い」×2＋「やや良い」）－（「悪い」×2＋「やや悪い」）}÷2÷回答数×100

^{*3} 3ヶ月後の見通し＝{（「良くなる」×2＋「やや良くなる」）－（「悪くなる」×2＋「やや悪くなる」）}÷2÷回答数×100（調査年月の3カ月後の見通しを示す。）



[不動産業業況等調査結果（pdf）ダウンロード](#)

資料：一般財団法人 土地総合研究所「不動産業業況等調査」

土地総研メールマガジン 第105号「不動産業業況等調査」